

## 平成 25 年度当初予算 選択・集中プログラム取組概要

### 新しい豊かさ協創 1 未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト

(主担当部局：教育委員会)

#### プロジェクトの目標

子どもたちが、自らの夢の実現をめざし、主体的に学び、自信と意欲、高い志を持って輝く未来を切り拓いていく力とともに、他者との関わりの中で、共に支え合い、新しい社会を創造していく力を身につけています。

この実現に向け、4年後には、学校・家庭・地域が一体となって、県民総参加で子どもたちの学力向上を支援する取組が進められるとともに、各学校では、教職員の授業力の向上などにより継続的な授業改善が行われ、子どもたちがわかる喜びや学ぶ意義を実感して学習できる環境づくりが進んでいます。

#### プロジェクトの数値目標

目標項目		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
授業内容を理解している子どもたちの割合	目標値	-	82.0%	83.0%		85.0%
	実績値	81.2%				

各指標のH23 年度数値は現状値

#### 目標項目の説明

県内の公立小学校 5 年生、中学校 2 年生、高等学校 2 年生で学校の授業内容が「よくわかる」「だいたいわかる」と回答した子どもたちの割合

#### 進捗状況（現状と課題）

- ・ 学力向上県民運動を展開するため、「みえの学力向上県民運動推進会議」を立ち上げ、11 月にキックオフイベントを開催しました。コミュニティ・スクールの導入や地域人材を活用した学習支援など地域に開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域が一体となって、県民総参加で子どもたちの学力向上に取り組むための体制づくりが進んでいます。
- ・ 全国学力・学習状況調査の調査結果を分析し、授業改善の一層の充実など教職員の授業力を高める取組を進めるとともに、深刻化するいじめや問題行動等の解決や未然防止を図り、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを強化する必要があります。

#### 平成 25 年度を取組方向

「新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議（未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト）」での意見を踏まえ、子どもたちの学力向上につながる取組を進めます。

全国学力・学習状況調査の結果等により、三重県の子どもたちは全国と比べて読解力や表現力が弱い、家庭学習の時間が短いなどの課題が明らかになったことから、学校・家庭・地域が一体となって、読書活動の充実やワークシートを活用した家庭学習の促進等、子どもたちの学力向上に向けた県民総参加による取組を着実に進めるとともに、授業改善モデルの実践研究等による教職員の授業力の向上や地域に開かれた学校づくりを推進します。また、全ての子どもたちが学習意欲を持って安心して学べるよう、学級満足度調査を活用した子どもたちの問題解決能力の育成や、地域ぐるみで子どもを支えるネットワークの構築と活用を進めます。

**<実践取組1>「県民総参加による学力の向上」に挑戦します！**

教育委員会

(一部新) みえの学力向上県民運動推進事業

予算額：(24) 1,584千円 (25) 8,640千円

事業概要：子どもたちの学力向上に向けた取組方策について、様々な視点から幅広く議論するため、「みえの学力向上県民運動推進会議」を開催します。また、県民総参加による学力向上の取組を充実するため、当該会議の委員による広報・PR活動を進めるとともに、地域で開催される研修会等に推進会議の委員を講師として派遣するなど市町等の取組に対する支援を行います。さらに「まなびのコーディネーター(仮称)」が、地域の教育力を活用し、子どもたちの学びを地域で支える「みえの学び場」づくりを推進します。

(新) 学力向上のための読書活動推進事業

予算額：(24) - 千円 (25) 36,868千円

事業概要：子どもの読解力を中心とした学力を向上させるために、専門性の高い図書館司書を計画的に派遣し、学校図書館において担任と司書教諭の連携による授業を展開します。また、読み聞かせを実施しているNPO関係者等からなる「学校図書館サポート隊(仮称)」が県内の学校を巡回しブックトークや読み聞かせを行い、子どもたちや教員へ楽しい学校図書館の活用方法等を普及・啓発するとともに、ファミリー読書を推進するための啓発を行います。

(一部新)「確かな学力」を育む総合支援事業

予算額：(24) 30,377千円 (25) 27,115千円

事業概要：全国学力・学習状況調査を活用し、学力の定着と向上を図る取組を充実させるため、課題解決に向けた効果的な教材の作成や各学校の授業改善の取組を支援するための講演会の開催等を行います。また、実践推進校には、学力向上アドバイザーの派遣等により授業改善にかかる指導体制の充実を図ります。さらに、「科学の甲子園ジュニア(仮称)」三重県予選の実施を通じ、科学技術に対する関心を高めるとともに、当大会への参加を促進します。

(新) サポートラーニング事業

予算額：(24) - 千円 (25) 4,704千円

事業概要：生徒の国語・数学・英語の学力や学習習慣等を把握するとともに、課題の明確化を行い、「学び直し学習」のカリキュラム開発や指導法の研究などを行い、高校生の基礎的・基本的な学力の定着・向上を図ります。

### 「志」と「匠」の育成推進事業

予算額：(24) 20,496千円 (25) 20,863千円

事業概要：高校における理数教育、英語教育、職業教育の充実を図るため、県立高校を指定し、大学・企業と連携したセミナーの開催、科学オリンピック大会の開催、コミュニケーションを重視した英語教育に関する指導方法の工夫改善等に取り組むとともに、小中学校とのネットワーク構築等を行います。

## <実践取組2>「地域に開かれた学校づくり」に挑戦します！

### 教育委員会

#### 地域と協働する学校運営支援事業

予算額：(24) 16,912千円 (25) 13,764千円

事業概要：公立学校において、保護者や地域住民等の学校運営や教育活動への参画を進めるため、「開かれた学校づくり推進協議会」における協議の充実を図るなど、各市町におけるコミュニティ・スクール等の導入を支援します。また、学校関係者評価の質を高めるため、学校関係者評価研修会を実施するとともに、県立学校における学校関係者評価の実施義務化に伴う支援を行います。

#### 地域による学力向上支援事業

予算額：(24) 11,626千円 (25) 13,985千円

事業概要：大学生や教員経験者等地域住民の知識・技能を活用して子どもの学力向上を図る市町の取組を支援し、地域住民等による学校を支援する体制づくりを推進します。また、学校と地域住民等をつなぐコーディネーター等への研修、事業の成果の共有と普及を図るための成果報告会等を行います。

## <実践取組3>「教職員の授業力向上」に挑戦します！

### 教育委員会

#### (一部新) 教職員の授業力向上推進事業

予算額：(24) 16,951千円 (25) 18,157千円

事業概要：子どもたちの学びを支えるため、授業実践研修や授業研究担当者育成研修、校内研修推進に係るマネジメント研修等とおして、教職員が相互に学び合う授業研究の文化を学校に定着させます。さらに、様々な教育情報を提供することで、教職員一人ひとりの授業力の向上を図ります。

#### (新) フューチャー・カリキュラム「協創」事業

予算額：(24) - 千円 (25) 7,097千円

事業概要：基礎的・基本的な知識・技能の定着と向上を図るとともに、思考力・判断力・表現力等を育む授業改善モデルを作成するため、フューチャー・カリキュラム実践研究委員会及び小中学校の教科別のプロジェクトチームを設置し、授業改善モデルの実践研究に取り組みます。また、授業改善モデルの普及・啓発を図るため、公開研究授業を行い、教職員の授業力向上をめざします。

## <実践取組4>「安心して学べる環境づくり」に挑戦します！

### 教育委員会

#### 学びの環境づくり支援事業

予算額：(24) 25,213千円 (25) 25,724千円

事業概要：中学校区を単位として重点的に取り組む地域にスクールカウンセラーを配置し、小学校から中学校への途切れのない支援を行うなど、学校の教育相談体制の充実を図ることにより、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めます。

#### (新) いじめを許さない「絆」プロジェクト事業

予算額：(24) - 千円 (25) 53,520千円

事業概要：深刻化するいじめの未然防止を図り、子どもたちが安心して学ぶことができる環境づくりを強化するため、学級満足度調査を活用した子どもたちの問題解決能力を育成する取組を進めます。また、いじめをはじめとする生徒指導上の課題を総合的に支援できる各市町の指導主事等の育成を図ります。

#### (新) 高校生自立サポート事業

予算額：(24) - 千円 (25) 4,806千円

事業概要：子どもたち一人ひとりが置かれた状況に対して、学校、家庭、地域の関係機関との連携を図り、不登校や中途退学の解決に向けた支援を行うスクールソーシャルワーカーを不登校や中途退学等の課題を抱える県立高校に配置するとともに、地域若者サポートステーション等との連携により、早期の段階から就労支援や訪問支援などを行います。

#### 学びを保障するネットワークづくり事業

予算額：(24) 13,700千円 (25) 12,600千円

事業概要：いじめ、不登校など子どもたちを取り巻くさまざまな課題の解決や未然防止を図るための仕組みとして、学校、保護者、地域住民等が一体となって取り組む「子ども支援ネットワーク」を中学校区の単位で構築し、子どもたちの自尊感情や学習意欲の向上を支えます。また、ネットワーク構築の際に、要となる教員の育成を支援します。